

星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム開催地のご提供を検討されている皆さんへ

ver.3

星のソムリエ機構

開催の手順等概略を以下にまとめました。(いざ具体的に動くと開催地特有のやささまざまな条件をうまくクリアしながら進むこととなりますので、「1. 概略」の後の「2. 詳細」も併せてご覧いただくとよいとおもいます。)

具体的提案をいただける場合は、別紙「星空案内人シンポジウム開催提供エントリーシート」にご記入の上、星のソムリエ機構 [starry-sky@star-sommelier.org](mailto:starry-sky@star-sommelier.org) にお送りください。

## 1. 概略

- a. 開催時期：通常は3月の第一週近辺です。会期は通常2日間です。
- b. 運営分担：シンポジウムの主催団体(以下、SO と呼びます)と開催地を提供をする現地団体(以下、LO とよびます)の分担は概ね以下のようになります。  
(SO は Sponsoring Organization; LO は Local Organization)  
(ア) LO は開催場所の提供と懇親会を担当する。  
(イ) SO は、シンポジウムのほとんどすべての企画・運営(招待講演者選びや各種企画、プログラム作成、HP の作成、参加受付、当日の進行など)を担当する。  
(ウ) 参加者の旅行、宿泊は参加者自身が行うのが原則。LO が提供・斡旋を行うことも SO と協議の上、可能です。
- c. 経費負担  
(ア) 会場は LO による無償提供  
(イ) 懇親会は参加者自己負担で独立採算(懇親会会計は LO が担当)  
(ウ) SO と LO はそれぞれ独立して会計を行い、互いに干渉しない。  
(エ) 招待講演者や優秀発表賞受賞者などの招待参加者の旅費・宿泊費・謝金は SO が支払う。  
(オ) ネットワーク利用料、会場で使用する機材、プログラム印刷、名札印刷、会場で提供する茶菓子など諸事務のマンパワーと経費の分担は事前に LO と SO が協議して決定する。
- d. その他  
開催地提供のメリットとしては、開催地周辺のみなさんに星のソムリエをアピールし知名度を向上できること、および、全国の皆さんに開催地のことを知ってもらえること。

## 2. 詳細

### [a. 開催時期についての詳細]

3月の第一週近辺にしているのは、国立大学入試2/25と年度末の繁忙期および日本天文学会年会の隙間の時期であることです。これまでのアンケート調査では概ね参加者らかの評判が良い日程です。しかし、開催地の都合で、1月あるいは2月という選択肢も排除しません。12月より早い日程ですと準備期間が不足するので避けたいです。3月実施の時の準備作業は前年8月ころから始まります。

### [b. 運営分担 (ア)開催場所についての詳細]

- 100人程度が集まれる会議室(マイク、スピーカー、スクリーン、プロジェクターを備えるまたは持ち込む)
- 星空案内グッズ展示、ポスター展示、協賛企業の展示などができる部屋(上記会議室の一角でも可)
- 受付などを設置するのでそのためのスペースや机など
- ネットワークの提供がいただければ嬉しいが、SOが会期中レンタルすることも可能。
- LOに、開催地での諸業務をおねがいします。例えば、
  - ・その他、看板の設置、道案内
  - ・企業展示などの事前打ち合わせ、
  - ・食事のできる場所の案内、交通アクセスの案内
  - ・賛助企業などが事前に機材などを郵送したいという場合がありますので郵送・宅配などの受入れ

### [b.運営分担 (イ)SOの役割に関する詳細について]

シンポジウムの企画についてはSOに任せてLOは関与する必要はありませんが、一部LOにご協力をお願いすることがあります。以下のような例です：

- 地元の天文施設などを紹介するエクスカージョンを企画する場合(例、2023年、郡山ふれあい科学館プラネタリウム見学、2024年和歌山大学構内の天文施設見学)
- 招待講演は普通2件行いますが、そのうち一件を地元の方をお願いする場合の講演者へのお願いやお世話。

### [c. 経費負担 (ア)会場についての詳細]

これまでは、LOがお持ちの施設を無償でご提供いただいています。それが難しい場合も地域の助成金などを活用して、施設の借り上げについてはできるだけ無償でできるようにおねがいします。シンポジウムは参加者の参加費とスポンサーの協賛金を財源として運営しています。LOが非営利組織の場合、参加費から数万円程度であればLOにお支払いすることは可能とおもいます。

#### [c.経費負担(イ)懇親会の詳細]

懇親会は独立採算でおこない、会計処理はLOで行ってください。ただし、ドタキャンなどで赤字になったことがあります。SOで管理している懇親会用の貯金箱があります。懇親会が黒字ならこの貯金箱に入れ、赤字の時は、貯金箱からLOに赤字分を支払うようにしています。ご協力をお願いします。

#### [c.経費負担(ウ)LOの運営費の詳細]

LOが本制度の実施団体で非営利組織である場合は、SOからLOに事前に相談の上、(300円から500円程度)×参加人数を実施費用としてお支払いします。用途としては、会場等で交流の場にお茶菓子などを提供、会場周辺の看板、ポスターの印刷、その他、当日発生する細かな事務消耗品など。

## 付録

その他(過去の事例から)も参考にしてください。

- 開催地周辺の見学ツアーなどを企画していただけると参加者に喜んでいただけます。
- 開催地自治体提供の観光パンフ、お土産などを配布することがあります。
- 自治体などから補助金が出る場合があり、それに応募して会場費、送迎バスなどに利用したことがあります。
- 開会式で、開催団体の長、地元自治体の長などからご挨拶をいただくことがあります。
- 地元自治体、観光協会などからパンフレット、バッグ、粗品を提供いただいたことがあります。
- 開催地提供団体は宿泊施設をもっている場合、参加者の宿泊を募集した場合があります。
- 開催地近くの天文台などに夜間見学ツアーをしたことがあります。